



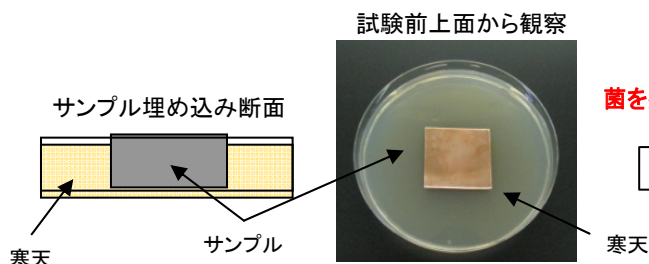
銅合金の抗菌試験

衛生機能製品に使用される銅合金をはじめとした各種合金材料の抗菌・抗カビ性を評価いたします。

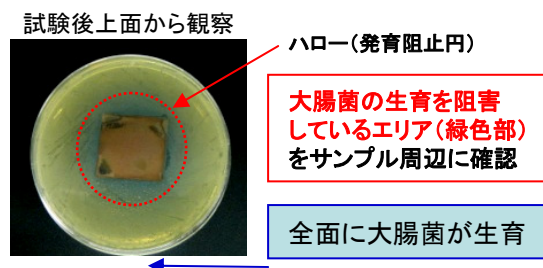
板状および加工品の抗菌・抗カビ試験

- 銅合金製品に多い曲げやパイプ等の加工形状に合わせた抗菌・抗カビ試験方法をご提案いたします。サンプルを寒天培地に固定し、一定の菌数の菌液を寒天とサンプルの上面に吹き付けた後、培養する「ハロー（発育阻止円）法」と呼ばれる方法が一般的です。この方法では多様な形状のサンプルを試験することができますが、サンプルの大きさについては、ご相談下さい。大腸菌や黄色ブドウ球菌、緑膿菌などの細菌類の他、カビの試験も行うことができます。

Step 1 : 板 / 加工品サンプルの準備



Step 2 : 培養後の抗菌性の評価

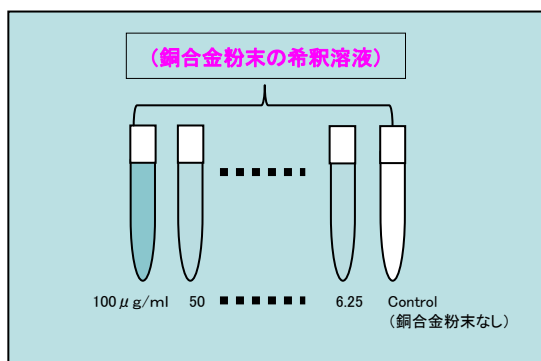


粉末品の抗菌・抗カビ試験

- 最小発育阻止濃度 (MIC: Minimum Inhibitory Concentration) の測定
銅合金粉末の濃度を段階的に変化させた試験管に、既定の菌液を入れ、抗菌性の発現する濃度を調べます。菌種は、大腸菌や黄色ブドウ球菌、緑膿菌などから選ぶことができます。銅合金以外の粉末状の抗菌剤についても同様の試験が可能です。

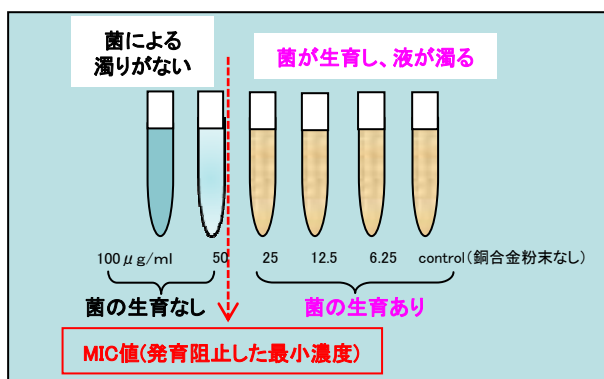
Step 1 : 銅合金粉末の準備

銅合金粉末の濃度を変化させた試験管に、一定の菌数に調整した菌液を入れます。



Step 2 : 培養後の菌増殖の確認

培養後の試験管サンプルの濁度で、菌の増殖の有無を評価します。



その他材料の抗菌・抗カビ試験

銅合金材の板状、加工サンプル、粉状サンプルの他、樹脂やゴム等のサンプルの抗菌・抗カビ試験方法にも対応可能です。お気軽にご相談下さい。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。